

2022 年度

入園のしおり



愛されていることを知り
愛する者となるために



幼保連携型認定こども園

福光青葉幼稚園

〒939-1732

富山県南砺市荒木 1301-1

TEL 番号	0763-52-1008
FAX 番号	0763-52-5423
e-mail	fuku3aoba@nanto-e.com
Homepage	http://fuku3aoba.group.nanto-e.com/

ひとりひとりの命を大切に育むために

認定こども園福光青葉幼稚園
園長 横山 一乃

福光青葉幼稚園は、何よりもまず「子どもにとって、最高に楽しい生活の時と場」を創りたいと願っています。子どもがひたむきに様々な活動を行い、心から楽しいと感じられる幼稚園でありたいのです。なぜなら子どもが何かに夢中になって取り組んでいる時、子どもの心と頭と体は活発に働き、そこで人間の生涯を支える基本的経験を自ら最も育んでいると考えるからです。

幸せな幼児期を過ごした者は、幸せな人生を過ごすことが出来ると私達は信じています。幼児期の幸せな思い出は、その人の生涯の財産となるのです。大人になって何らかの困難に遭遇したとしても、小さい頃にたくさんの人から愛され楽しい満足した日々を送った者は、心に「生きる力」の核を所有し、困難な時も逞しく乗り越えて行くことが出来ると多くの卒園生を見て思えるのです。そのためにも、まず子どもが「幼稚園に行くのが楽しくて楽しくて仕方がない」と思える幼稚園でありたいのです。

また人生の基礎を培う幼児期に、私達がしっかりと体験させたいものが三つあります。一つは家庭ではもちろん幼稚園でも先生や友達からの「**愛され大事にされる体験**」です。子どもは愛され大事にされる経験を持つことで自信を持ち、自分らしさを発揮できるからです。思いやりもやさしさも感謝の心もここで育つのです。

二つめは「**自然の豊かさに触れる体験**」です。陽の光、風、木々や草花、水、土、砂などに充分に関わりながら遊ぶことで、子どもらしい感性と体験が育まれるからです。

三つめは「**美味しいものを皆で楽しく食べる体験**」です。美味しい食べ物は、心も体も豊かにしてくれます。子どもたちは、心と体が満たされて心情が安定し、多くのことに興味と関心を広げて行けるからです。

一人一人の命を大切に育む環境を創ることが、福光青葉幼稚園の保育の原点なのです。



自然探検（桜が池公園）
夏の自然体験活動



みんなでクッキング
食育活動の一環

認定こども園福光青葉幼稚園のめざす子どもの姿

▶ 元気な子ども

子どもはひとりひとり資質も発達速度も違います。そのために、ひとりひとりの発達段階を丁寧に見つめ、ふさわしい援助を心がけています。自然に恵まれた幼稚園の周辺地域を十分に活用し、のびのびと身体と心を開放し躍動できる子ども、元気いっぱい遊ぶ子どもになるよう支えていきます。

▶ 考える子ども

子どもは遊ぶ中で育ちます。幼児期の生活は遊びそのものです。自発的な活動としての遊びを通して、さまざまな体験を重ねながら心身の調和のとれた発達の基礎を自然に身に付けていきます。考えたり、試したりできる子どもをめざし、教師は環境を整え、活動を援助し、子どもの遊びを深め充実できるように導きます。

▶ 愛する子ども

目には見えないけれどもとても大切なものがあります。優しさ、思いやり、感謝する心、希望を持つこと、そして人を信じ、神に祈ること。毎日の保育の中で祈り、聖書の話や食事の感謝など内なるものに心を動かすことの大切さを体験しています。子どもは、自分が保育者や友だちから愛され大事に受け入れられていると感じられる時、心も安定し、伸び伸びと活動することができます。園全体が温かな雰囲気を持ち、ひとりひとりの育ちを見守っていきます。



お花見お散歩



水鉄砲でツツツツツツ



大きなお芋が掘れました



花の日訪問



●あたたかで丁寧な、人的・物的環境

みんなで「一緒に育てる」大切さ・・・「小さいからかわいそうだ」と低い年齢からの入園をためられる方がおられます。幼稚園は子育ての一部を担うのであって、母親の役割が変わるわけではありません。むしろ、母親が独力で頑張ろうとして、子育てを行き詰らせることが多いのです。昔から日本人の子育てでは、多くの大人や同年齢のこどもとの関係の中で進められ、安定した心の成長・発達がなされていました。

それぞれの園の環境や保育の仕方も違うので、一概には言えませんが、当園に入園された後、多くのお母さん方が「家でだけ見るより、子どものいろんな成長が分かる」「もっと早く入れればよかったほど」と、おっしゃいます。園では0歳から、赤ちゃんの持っている様々な潜在的な力に目をとめてかわわり、生きる力と意欲にあふれた成長を助けています。

園舎は吉江中学校、福光東部小学校、東部かがやき保育園等のある文教地区に建てられ、450坪の敷地を有しています。建物は鉄骨ですが、木材を多用し、ぬくもりの感じられる明るい施設です。

園庭には多くの緑を配置し、トンネルを有した築山や六角形の砂場など、落ち着いた空間と活動的な空間とにわけ、メリハリをつけた環境になっています。

また、園庭南側には、畑地を借用し、じゃがいもや、さつまいも、かぼちゃなど栽培し、食育の活動に役立てています。収穫した野菜をクッキング活動に取り入れたり、給食の食材にも生かして、子どもたちのよき学びとしています。

また地域のつながりとしては、春に田植え体験、夏は田んぼの生き物調査、秋には稲刈り・冬は自家製味噌作りを体験できる地域との繋がりを大切にしています。病院・施設への慰問も積極的に行い、さまざまな体験を通しての地域交流を大切にしています。

さらに郷土の偉人「棟方志功」の業績を学んだり、福光焼からスタートした「陶芸」に挑戦したりして、地域の中で育ち、そして地域の人々に子どもたちを温かく見守っていただけるような保育を目指しています。



田植えの体験





認定こども園福光青葉幼稚園 96年の歩み

- 1926(昭和 元)年 カナダメソジスト宣教師トウイーデー宣教師により福光町西町に福光幼稚園として開園
- 1937(昭和12)年 福光町栄町に教会堂と共に新園舎を設立、移転
- 1952(昭和27)年 学校法人の認可を受け、学校法人福光幼稚園 福光幼稚園となる
- 1994(平成 6)年 学校法人福光キリスト教学園 福光青葉幼稚園と名称を改める
- 2006(平成 18)年 南砺市(旧福光町)荒木に新園舎を設立・移転
- 2012(平成 24)年 幼稚園型認定こども園福光青葉幼稚園となる
- 2015(平成 27)年 幼保連携型認定こども園福光青葉幼稚園となる

●園舎・園庭平面図



園舎と前庭

(幼稚園概要)

- 園地面積 1,453㎡ (約443坪)
借地
- 園舎面積 560㎡ (約169坪)
- 園庭面積 330㎡ (約100坪)
- 建物構造 鉄骨平屋
- 建築年 2006年新築
- 利用定員 55名

(学校法人 福光キリスト教学園)

- 設置園 幼保連携型認定こども園
福光青葉幼稚園
南砺市荒木1301-1
- 法人構成 理事長 前田 真孝
理事 井澤正生 風間宣夫
釜土達夫 佐々木律子
野村 守 横山 一乃
吉川光太郎
監事 松永晴義 渡邊一美
評議員 16名
- 保育教諭 13名
- 職員 4名

クラスについて

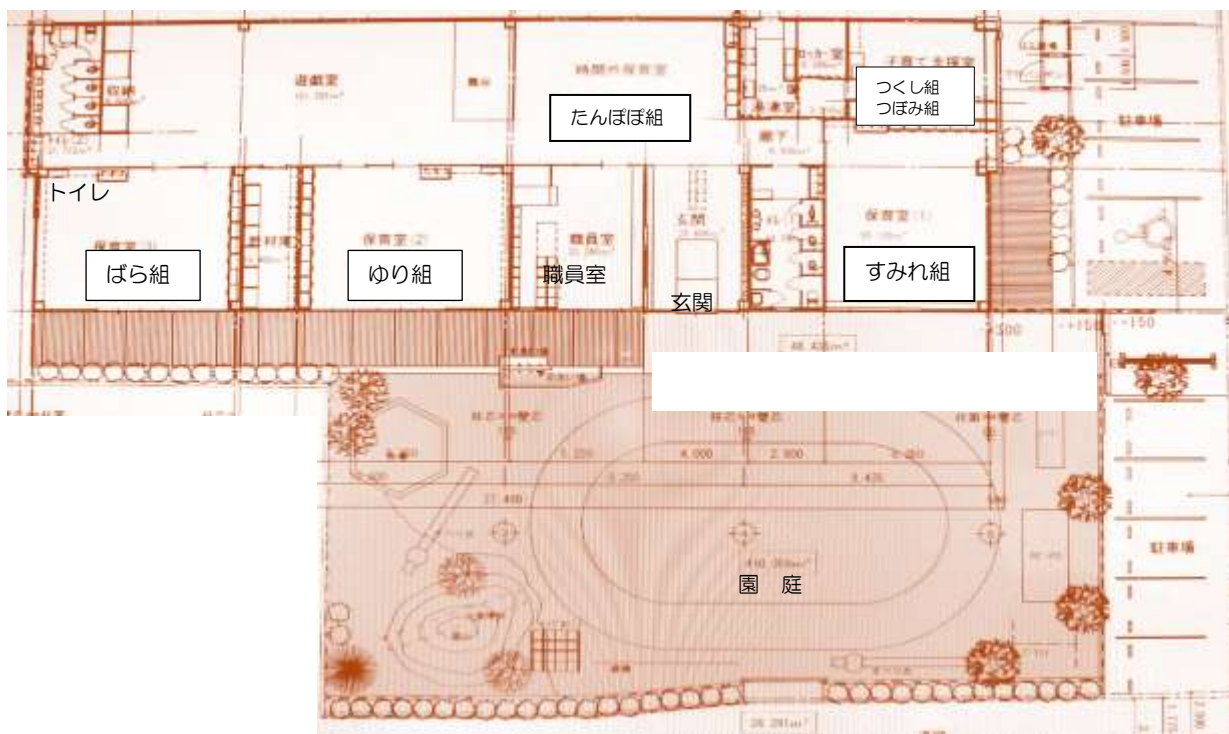
認定こども園福光青葉幼稚園では、原則、年齢別のお部屋編成によって保育を行います。

(お部屋の編成は、その年の年齢別園児数によって前年度と異なることがあります。)

ばら組 (5歳児)	1クラス
ゆり組 (4歳児)	1クラス
すみれ組 (3歳児)	1クラス
たんぽぽ組 (2歳児)	} 1クラス
つくし組 (1歳児)	
つぼみ組 (0歳児)	1クラス



※年少から年長は年齢を超えた子どもの相互発達を促し、より広く多様な遊びの環境を保障するため、異年齢での総合保育を行っています。



認定こども園福光青葉幼稚園 見取り図

主な年間の行事予定

4月



- 入園・始園礼拝
- お花見遠足（小矢部川畔）
- 親子遠足
- イースター礼拝

5月



- 母の日礼拝
- 施設慰問
- 園外保育（桜が池他）

6月



- 花の日礼拝・訪問
- 歯科/内科/耳鼻科/
眼科検診
- 田植え体験

7月



- 水遊び
- バイキング給食
- 自然体験会（年長）

8月



- 水遊び
- 流しそうめん
- 夕涼み会

9月



- 祖父母参観
- さつまいもほり
- 運動会

10月



- りんご狩り遠足
- もちつき
- 稲刈り体験

11月



- 収穫感謝礼拝・訪問
- お店屋さんごっこ
- クリスマスプレゼント作り
- 子育て講演会

12月



- クリスマス礼拝
- キャロリング
- バイキング給食

1月



- お正月遊び
- 書初め
- 個人懇談会

2月



- そり遠足（IOX）
- 保育参観
- お点前体験

3月



- ひなまつり会
- 卒園遠足（年長）
- お別れ会
- 卒園・終園礼拝

●毎月の行事

- ★お誕生日会
- ★身体測定
- ★避難訓練
- ★子育て支援「おひさまらんど」
- ★みんなでクッキング

●年間行事

- ★親子クラス活動（3歳児/親子ふれあい体操、4歳児/味噌作り、5歳児/陶芸教室）

※赤字は、保護者の方にも来ていただく行事です。
あくまでも行事予定ですので、変更があるかもしれません。

幼稚園の一日（デイリープログラム）

～生活と遊び～

時 間	3歳未満児（0・1・2歳児）	時 間	3歳以上児（3・4・5歳児）
7:30	<ul style="list-style-type: none"> 早朝保育 順次 登園 	7:30	<ul style="list-style-type: none"> 早朝保育 順次 登園
8:30	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ 健康観察（検温・消毒） 所持品の始末 自由遊び 	8:30	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ 健康観察（検温・消毒） 所持品の始末 部屋・ホールで自由遊び 園庭で自由遊び 当番・係活動
9:45	<ul style="list-style-type: none"> おやつ 		
10:00	<ul style="list-style-type: none"> 朝の会 お祈り 午前の活動 お散歩 歌・お話 	10:00	<ul style="list-style-type: none"> 朝の会 お祈り 午前の活動 異年齢別の縦割り活動 クラス別の活動 
11:15	<ul style="list-style-type: none"> 昼食準備 昼食 	11:30	<ul style="list-style-type: none"> 昼食準備 昼食 歯磨き フッ素洗口（4・5歳児）
12:20	<ul style="list-style-type: none"> 午睡準備 午睡 	13:00	<ul style="list-style-type: none"> 午後の活動 ※夏期のみ午睡あり
15:00	<ul style="list-style-type: none"> おやつ 自由遊び 降園準備 	14:20	<ul style="list-style-type: none"> 降園準備
16:00	<ul style="list-style-type: none"> 順次降園 預かり保育 	15:00	<ul style="list-style-type: none"> 1号認定 降園 おやつ お話・ゲームタイム
18:30	<ul style="list-style-type: none"> 降園終了 	16:00	<ul style="list-style-type: none"> 2・3号認定 降園 預かり保育 
		18:30	<ul style="list-style-type: none"> 降園終了

※子どもたちの様子に応じて変更することがあります。

心と体を育む食事

当園では、園児が毎日口にする給食を大切にしています。また、園児が好き嫌いなく、十分に食べることができるように、料理の内容や食べる環境などにも工夫を続けています。



食べ方も保育の大切な課題です。特に小さいクラスから、子どもの発達に応じて食べるように、見守っています。その際には、子どもの食べる意欲を見守りながら、自主性の育つ食事を勧めています。大きいクラスでも、成長に応じて、食べる人数、時間、環境を変えながら、進めます。

●献立

(株)魚国総本社さんに、幼稚園独自の要望を取り入れていただき、献立を作ってもらっています。栄養基準を満たすだけでなく、食べ合わせや食欲の出る組み合わせ、行事に添った食事など、献立としてのバランスを重要と考えています。

●材料

できるかぎり地元産の食材を使用しています。化学調味料は一切使用せず、天然の出汁や醤油、幼稚園自家製の味噌を使用しています。

お米やパン、牛乳も地元産のものを取り入れています。

●おやつ

午前・午後のおやつは、果物やヨーグルト・チーズなどを中心に提供しています。また、週に1・2回は手作りおやつで、基本的に園で作ったものです。

●アレルギーについて

食物アレルギーのあるお子さんへの対応はもちろんのことですが、アレルギーを引き起こす可能性の高い材料は、全園児に対してできるだけ控える方向です。

●子どもたちの様子

入園前は好き嫌いの激しかったお子さんも、しっかり食べるようになっていきます。無理なく美味しく食べられる関わりや、環境によって年齢にかかわらず全てのお子さんが残さず食べています。意外と酢の物や和え物、煮物が人気です。



- ・地元パン屋さんのロールパン
- ・うどん (ほうれん草入り)
- ・大学芋
- ・いちごヨーグルト
- ・地元産牛乳

- ・地元産米のごはん
- ・自家製味噌の味噌汁 (豆腐となめこ)
- ・白身魚天ぷら
- ・みそだれ
- ・地場産野菜の酢の物
- ・りんご
- ・地元産牛乳



ある日の給食献立